

日本史Bシラバス

沖縄県立読谷高等学校

1. 学習到達目標等

教科名【地歴】 科目名【日本史B】
 使用教科書【山川出版社 改訂版詳説日本史】
 副読本【浜島書店 新詳日本史】

1. 日本史に関する興味関心を高め、自国の文化と伝統についての認識を深めさせる
2. 日本史を世界的視野に立って理解させ、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う
3. 主題学習を通して、客観的かつ公正な史料により適正な歴史認識を育成する

2. 学習計画

科目名・日本史B			単位数・2	学科・学年:普通科・3年(選択)		
学期	月	時数	学習内容	学習のねらい・目標	備考	
1 学期	4	6	第6章 ・幕藩体制の確立	・オリエンテーション ・織豊政権 ・桃山文化	○ヨーロッパ人の東アジアへの進出と其の影響や、織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察させる ○新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代背景を踏まえて考察させる	・ヨーロッパ文化との接触については、世界史との連携をはかる。 海防問題の国際環境については、世界史との連携をはかる
	5	7	・幕藩体制の成立	・幕藩社会の構造	○江戸幕府の幕藩体制や鎖国政策について、貿易関係のあり方も含めてその影響と歴史的意義について考察させる ○幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察させる	
	6	7	第7章 ・幕藩体制の展開	・幕政の安定	○17世紀後半から18世紀まで前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察させる	
	7	7	第8章 ・幕藩体制の動揺	・幕政の改革	○幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察させる	
				・元禄文化	○経済の発展を関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する	
				・幕政の改革	○農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察させる	
				・宝暦・天明期の文化	○江戸中期に確立した洋楽や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連づけて考察させる	
	9	7		・幕府の衰退と近代への道	○幕府が衰退していく過程と、雄藩の浮上という地方からの視点から考察させる	
				・化政文化	○化政文化について、学問・思想・教育・文化・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する	
2 学期	10	7	第9章 ・近代国家の成立	・開国と幕末の動乱	○開国から明治維新に至るまでの過程を、天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解させる	帝国主義については、世界史との連携をはかる。
				・明治維新と富国強兵	○明治初期の政治的変革と国家的統一過程と対外政策について考察させる	
				・立憲国家の成立と日清戦争	○自由民権運動の始まりから、立憲国家に至る過程、条約改正交渉、日清戦争に至る経緯を考察させる	
				・日露戦争と国際関係	○日露戦争と戦後の日本の国際的地位の変化等を考察し、国内政治の動きを政党と藩閥の関係からとらえさせる	
	11	7		・近代産業の発展	○資本主義国家の基盤の確立と近代産業の発展に伴う社会問題を考察させる	
				・近代文化の発達	○近代文化の特色を理解させる	
	12	7	第10章 ・二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦とアジア	○第一次世界大戦前後の政治動向や対外政策と、戦争が日本に与えた影響について考えさせる	ファシズム及び第二次世界大戦については、世界史との連携をはかる。 ・戦後の国民生活については、政治経済との連携をはかる。
			・ワシントン体制	○国際的協調体制の進展など国際環境の推移を日本の立場で考えさせ、また、政党内閣制成立に至る意義を考察させる		
			・市民生活の変容と大衆文化	○大衆社会の基盤の成立から、市民文化の特色を考察させる		
			・恐慌の時代	○国内経済の動揺と、社会主義運動の効用や、強調外国の挫折の過程を考察させる		
			・軍部の台頭	○政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程、国家主義の高揚と軍部の影響力が増大していく過程を考察させる		
			・第二次世界大戦	○日中戦争から太平洋戦争に至る過程と、この戦争から平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する		
3 学期	1	7	第11章 ・占領下の日本	・占領と改革	○占領政策と民主化政策の経過と内容、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解させる	・戦後の国民生活については、政治経済との連携をはかる。
				・冷戦の開始と講和	○占領の終結と日本が独立した意義、その後の日米関係の継続について考えさせる	
			第12章 ・高度成長の時代	・55年体制	○55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察させる。また、日本が国際社会へ復帰したあとの日本の動きを考察する	
	2	6	第13章 ・激動する世界と日本	・経済復興から高度経済成長	○高度経済成長と消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらした社会問題について考察させる	
			・経済大国への道			
			・冷戦の終結と日本社会の動	学年末考査		

3. 評価方法

- ①: 中間期末テスト・授業・課題プリントの取り組み状況、授業に対する意欲などを総合的に判断し、評価する
- ②: 年間の学習状況の評価は、各学期のテスト・授業・課題プリント・授業への意欲・態度等を総合的に判断して評価する